

## 資料を活用して意見文を書く

～ 著者の意見をふまえ、テーマを決めて、資料を調べ、自分の考えをまとめる ～

現代文

「命は誰のものなのか」  
資料の活用 情報活用

ねらい

- 複数のテーマの中から自分の興味のあるものを選び、著者の意見をふまえながら資料を調べ、読むことができる。
- 情報カードを活用して自分の考えをまとめるのに必要な情報を取捨選択し、意見文シートを使って自分の考えを書くことができる。

### 学 習 展 開 . . . . .

- ① 生徒は、「命は誰のものなのか」(柳澤桂子)を学習し著者の意見を把握する。
- ② 教科担当教員は「命」についての複数のテーマをあげて紹介し、生徒にどれか一つのテーマを選んで、著者の意見をふまえながら自分の考えをまとめて意見文を作成するという授業の流れを説明する。
- ③ 同じテーマを選んだ生徒でグループを作り、資料を調べて情報カードに必要な情報を書き抜く。次に意見文シートに記入して意見文のひな型を書き、原稿用紙に清書する。
- ④ グループ内で原稿を発表し、代表を選ぶ。次に全体でテーマ別代表の発表会をする。

「命は誰のものか」  
関連テーマ

- ・脳死
- ・臓器移植
- ・ドナー
- ・安楽死
- ・尊厳死
- ・終末期医療
- ・再生医療
- ・クローン

### ◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は担当教員と相談して授業の手法や教材研究についての情報提供、生徒の使用するテーマごとの書籍や新聞の切り抜き、パンフレットなど様々な資料準備を行う。
- 学校司書と司書教諭は担当教員と話し合っ、情報カードと意見文シートを作成、準備する。
- 学校司書は、生徒の調べ学習をT2として支援する。

### ★指導のポイント

- ◆ 司書教諭は情報カードの書き方、資料の読み方(大まかな内容把握の仕方、拾い読み、探し読み)意見文シートの書き方等を生徒の実態に応じて分かりやすく説明する。
- ◆ どの程度まで資料を用意するか、学校司書、司書教諭、担当教員でよく打ち合わせる。

### 資料

「6ステップで学ぶ中学生・高校生のための探求学習スキルワーク」桑田てるみ編(全国学校図書館協議会)  
「14歳からわかる生命倫理」雨宮処凜著(河出書房)「いのちの選択」小松美彦著(岩波ブックレット)  
「脳死・臓器移植Q&A50」臓器移植を問い直す市民ネットワーク(海鳴社) 新聞記事等